

大学院教育学研究科教員の公募について

記

1. 採用予定職名・人員 准教授又は講師 1名
2. 所属講座 教育学研究科 教育実践高度化専攻
3. 専門分野 教育学（教育制度・政策論，又は学校・学級経営論）
4. 採用予定年月日 平成28年10月1日
5. 担当予定授業科目 大学院 教職大学院関連科目，他
学 部 教育制度論，教職基礎論，教職実践演習，教育学関連科目の講義演習，卒業研究指導，教育実習指導，他
その他 共通教育として専門領域にかかわる科目，他
6. 応募資格 (1) 大学院博士課程修了（見込み）者，又はこれと同等以上の研究業績を有する者
(2) 大学院の授業を担当できる者
(3) 教育実習等実践科目の指導・運営，実践的課題について教育委員会，学校等と共同研究をする意思を有し，その指導・運営等を担当できる者，量的調査及び質的調査の技能を有し，教育現場の調査研究に従事できる者
7. 雇用条件 (1) 准教授の採用に際しては任期制をとっていませんが，講師の採用に関しては愛媛大学で定めたテニユア・トラック制度が適用されます。
※愛媛大学のテニユア・トラック制度は，優れた能力開発プログラムを提供することに加え，財政的支援（研究費の配分等）を行うことで，若手教員の教育研究環境を充実させ，大学人としてふさわしい総合的な能力を有する教員を育成することを目的としています。詳しくは，注）をご覧ください。
(2) 給与 年俸制（国立大学法人愛媛大学年俸制教員給与規程による）
8. 提出書類 (1) 履歴書（写真を添付し，所属学会等を明記すること。）
(2) 研究業績目録（共著・共同研究等については，本人の分担部分等を明記すること。）
(3) 公刊されたすべての研究業績（別刷：コピー可）及びその要約（各200字程度）
(4) これまでに受けた研究助成の一覧
(5) これまでの教育業績・実践についてまとめたもの，および採用後の教育活動への抱負（1000字程度）。なお，教育業績・実践のない方は採用後の教育活動への抱負のみで結構です（700字程度）。
(6) 「教育制度論」「教職基礎論」（いずれも2単位，免許状取得のための必修科目）のいずれか1科目についてのシラバス（記載項目については，本学ホームページに公開されているシラバスを適宜参考にすること。）
9. 応募締切日 平成28年7月1日（金）必着
10. 応募書類提出先 〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学教育学部 教育学部長 佐野 栄 宛
※ 封筒の表に「教育学研究科 教員応募書類在中」と朱書し，簡易書留にて郵送のこと。なお，応募書類は原則として返却いたしません，業績現物に限り，希望があれば返却します。その場合，返却を希望する業績を明示のうえ，宅配便の着払い伝票を同封のこと。
11. 問い合わせ先 愛媛大学教育学研究科 教育実践高度化専攻
露口健司 tsuyu@ed.ehime-u.ac.jp
城戸 茂 kido.shigeru.kz@ehime-u.ac.jp

※ お問い合わせはメール（両方のメールアドレスに同報）にてお願いいたします。お電話でのお問い合わせはご遠慮ください。返信まで多少お時間を頂戴する場合もございますが，ご容

赦願います。(件名：【教員公募問い合わせ】)

12. その他 (1) 第一次選考ののち、面接、模擬授業を行うことがあります。その場合、交通費、宿泊費等は応募者に負担していただきます。
- (2) 男女共同参画社会基本法の趣旨に配慮し、教員の選考を行います。
- (3) 個人情報保護のため、応募書類に記載された個人情報は、選考および採用以外の目的には使用しません。また、応募の秘密は厳守します。なお、選考結果をホームページ上で公表する際、採用候補者の氏名については公表させていただきます。

注) テニユア・トラック制度

愛媛大学では、総合力(教育力・研究力・マネジメント力)の高い大学教員の育成を目指して、平成25年4月から「テニユア・トラック制度」を導入しました。

具体的には、教育学部で新規採用された講師の教員について、5年の任期を付し、任期中の最初の3年間で合計100時間の能力開発プログラムの受講を義務化するとともに、任期中の最初の3年間に財政的支援(研究費の配分等)を行います。

テニユア資格(終身雇用)の審査については、期間中の2年6月を経過した日から2年9月を経過する日までの3月間の期間内において中間審査を、4年4月を経過した日から4年7月を経過する日までの3月間の期間内において最終審査を実施し、中間審査または最終審査に合格した者をテニユア職に移行させます。最終審査に不合格となった場合は、5年の任期満了後の任期更新はありません。

なお、詳細についてテニユア・トラック制度に関するホームページは([URL:http://ts.adm.ehime-u.ac.jp/](http://ts.adm.ehime-u.ac.jp/))をご覧ください。